

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名

日野高等学校

重点項目	地域連携重点校	提出日	令和元年6月4日
------	---------	-----	----------

1 学校目標	
社会の中でたくましく生きるための学力や豊かな人間性を育み、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を図る	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にキャリア教育において、地域の資源を活用して、教育活動の発展・充実を図り、学校の特色化・魅力化を推進するとともに、地域の活力を高めることに貢献する。</li> </ul> <p>&lt;キャリア教育の全体目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を認識し、解決の方策を考え、行動する力を身につけさせる</li> <li>・人と関わる力、自分の感情・行動をコントロールする力を身につけさせる</li> <li>・地域社会に参加・貢献し、自分の将来を設計し進路を決定する力を身につけさせる</li> </ul> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域と連携した学びが充実している」と肯定的に回答した生徒が平成30年度には70%以上。(平成29年度69%)</li> <li>・職場体験学習実施後のアンケートで、生徒の態度に係る6つのアンケート項目において、平成30年度以降全て平均値が4.5(5段階)を上回る。</li> <li>・学びの成果発表会に来場する教育活動に関係した地域の方が、平成30年度以降20人以上。</li> <li>・日野郡内における職場体験学習の実施率が85%以上。</li> <li>・「課題研究」におけるテーマにおいて、地域資源との関連があるテーマが100%。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材・資源を活用した授業等を行い、生徒が地域を知り、地域に対して自分ができることを考える地域貢献への意欲の醸成を図った。</li> <li>・コーディネータと連携し、「課題研究」や「産業社会と人間」等において地域資源を活用した学びの場を多々設定し、地域の方から多くの学習への関心及び支援をいただいた。</li> <li>・事業体験を通し、主体的に考え行動することや他者と協働することの大切さを学ぶことができ、キャリアプランニング能力の育成を図ることができた。</li> </ul> <p>&lt;数値結果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域と連携した学びが充実している」と肯定的に回答した生徒が平成30年度は80.3%。</li> <li>・職場体験学習実施後のアンケートで、生徒の態度に係る6つのアンケート項目において、平成30年度の平均値は4.2。</li> <li>・学びの成果発表会に来場した方で、教育活動に関係した地域の方が、平成30年度は24人。</li> <li>・日野郡内における職場体験学習の実施率は95.7%。(23事業所の内、日野郡内は22事業所)。</li> <li>・「課題研究」におけるテーマにおいて、地域資源との関連があるテーマは100%。</li> </ul>
3 実施事業	
【高等学校課事業】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県版キャリア教育推進事業「ようこそ高校へ」キャリア塾(2年次生)</li> <li>・講演「職場体験の心構え」マナー講習会(3年次生)</li> <li>・講演「社会人としての心構えとマナー」</li> <li>・外部人財活用事業(社会人講師活用事業)(1年次生)</li> <li>・「産業社会と人間」社会人講師8名によるポスターセッション</li> </ul>	<p>日時：平成30年 5月15日(火)</p> <p>日時：平成30年 6月14日(木)</p> <p>日時：平成30年11月22日(木)</p>

・土曜授業等実施事業

(2年次生・3年次生)

- ・日野高ショップ (日野郡内商業施設等での販売実習) ・本校実習製品及び生徒が仕入れた商品を販売)

会場 金持テラスひの (日野町)	日時:平成30年 6月 9日 (土)
道の駅にちなん日野川の郷 (日南町)	日時:平成30年 7月14日 (土)
山村開発センター (日野町)	日時:平成30年 8月10日 (金)
道の駅奥大山 (江府町)	日時:平成30年11月11日 (日)
金持テラスひの (日野町)	日時:平成30年12月 8日 (土)

【独自事業】

(1年次生)

- ・地域連携キャリア形成事業

「産業社会と人間」における各種事業

※「人間関係形成能力・社会形成者意識」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成を図る学習活動を実施。

- ・おしどりトーク <地域の方とディスカッション> 日時:平成30年 5月17日 (木)
- ・フォトオリエンテーリング <地域を知る> 日時:平成30年 5月31日 (木)
- ・フィールドワーク (日野郡内24事業所訪問、聞き取り調査) 日時:平成30年 9月20日 (木)  
平成30年 9月27日 (木)

(2年次生)

- ・職場体験学習

- ・日野郡内22事業所、米子市内1事業所で実施。

実施日時:平成30年6月12日 (火) ~6月15日 (金)

(事前学習4月~6月、職場体験報告会8月23・28日)

- ・福祉マインド育成プログラム

※根雨小学校児童に車いすの介助方法等をヒューマンケア系列の生徒が指導。

日時:平成30年9月13日 (木)

- ・地域と繋がる芸術事業

- ・訪問演奏

※音楽教科を選択している生徒が地域の高齢者施設(2施設へ)へ訪問し演奏会を開催。

日時:平成30年11月22日 (木)、12月 6日 (木)

(3年次生)

- ・地域連携キャリア形成事業

「課題研究」における各種事業

※3年次生50名が個人もしくはグループで課題(テーマ)を設定。課題解決のための調査・研究・まとめを実践的に学習。

①テーマ設定(22班・22テーマ)。

②調査・研究・まとめ(4月~12月)

③課題研究発表会

日時:平成30年12月13日 (木)

- ・出会い!発見!農業チャレンジャー事業

園芸試験場・農業関連産業事業所の視察見学

日時:平成30年 9月21日 (金)

- ・日野高版デュアルシステム

※3年次生アグリライフ系列授業科目「森林応用」選択者2名が2事業所において、インターンシップによる農業科目「森林応用」の実習代替。

日時:平成30年5月18日 (金)~9月7日 (金)のうち10日間

- ・花を通じた地域交流

- ・根雨郵便局前のプランタ装飾

日時:平成30年 6月20日 (水)

- ・根雨駅前、根雨郵便局前、おしどり観察小屋のプランタ装飾 日時：平成30年12月12日（水）
- ・地域素材を活かした魅力創造プロジェクト  
 （「課題研究」において、地元食材を活用した商品開発をテーマとした学習）  
 ※地域食材を活用した商品を企画・開発し商品化及び販売。  
 日野町産えごまを使った「えごまマフィン」「えごまポルポローネ」「えごまシフォン」  
 日野町産えびす草を使った「ハブ茶ドーナツ」  
 自然薯の有効活用を図った「自然薯シフォン」  
 栽培したエディブルフラワーを使ったパフェ  
 （2年次生・3年次生）
- ・地域リーダー人材育成事業  
 ※和歌山大学の学生と生徒が班毎に地域調査やファームステイによる農家の調査を行い、その結果分析から報告書を作成し、報告会においてプレゼンテーションを行った。  
 宿泊先、報告会会場：ふるさと日南邑ファームイン、日野町文化ホール  
 日時：平成30年12月15日（土）・16日（日）（1泊2日）
- ・地域と繋がる芸術事業
  - ・「日野のまち つながりコンサート」  
 ※地域の音楽団体等と合同で合唱ワークショップ及びコンサート  
 会場：日野町文化センター 日時：平成31年1月19日（土）
  - ・飛び出せ日野高プロジェクト  
 ※鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」で本校の生産加工品及び開発商品を販売。  
 日時：平成30年12月7日（金）・8日（土）・9日（日）
- ・農場における地域交流活動
  - ・鏡陵大学  
 ※地域の人を対象に野菜栽培、食品加工等の交流活動。  
 受講申込者数 36名（地域の方）  
 日時：平成30年6月1日（金）、7月13日（金）、9月14日（金）、10月26日（金）、  
 12月14日（金）、3月29日（金）
  - ・福祉餅つき  
 ※アグリライフ系列の生徒と地域のボランティアが餅つきをし、餅を町内独居老人宅に配付。  
 日時：平成30年12月11日（火）
  - ・福祉そば打ち  
 ※アグリライフ系列の生徒がそば打ちをし、そばを老人福祉施設へ配付。  
 日時：平成30年12月18日（火）
  - ・ちびっ子農業体験  
 ※アグリライフ系列の生徒が黒坂小学校児童と農業実習をとおした交流学習。
    - ・じゃがいもの定植 日時：平成30年 4月19日（木）
    - ・田植え 日時：平成30年 5月17日（木）

#### 4 総合所見（成果・評価）

地域の様々な教育資源や人材を活用して地域との連携を積極的に図りながら事業を展開することができた。地域を活用した事業では、地域と交流や地域の課題を認識するなど主体的に学ぶ姿勢の育成となった。生徒は事業の体験を通し、コミュニケーションや協働することの大切さを学ぶことができた。教育活動が地域に還元できているかどうか、評価の実施方法の内容について検討する必要がある。

※枚数任意